



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	新大井川環境管理センター	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
------	--------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点/満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.2 / 5		ふつう
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.2 / 5		ふつう
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.6 / 5		がんばろう
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.2 / 5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上
			ふつう 3 点以上
			がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.2
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ②トップライトの採用。	Q-1 2	2.1 2.1.2 ①	外皮性能
	Q-1 3	3.1 3.1.3 ②	昼光利用設備
		3.2 3.2.1 ③	昼光制御
	Q-2 2	2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。	Q-3 1		⑤ 生物環境の保全と創出
	3	3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦ガラスウールによる高断熱化。 ⑧トップライトによる自然エネルギーの利用。 ⑨LED照明の採用。	LR-1 1		⑦ 建物外皮の熱負荷抑制
	2		⑧ 自然エネルギー利用
	3		⑨ 設備システムの高効率化
	4	4.1 ⑩	モニタリング
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) 特になし。	LR-2 1	1.1 ⑪	節水
		1.2 1.2.1 ⑪	雨水利用システム導入の有無
	2	2.1 2.1.1 ⑫	雑排水等利用システム導入の有無
		2.1.2 ⑫	材料使用量の削減
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭省エネルギー対策。		2.1.3 ⑫	既存建築躯体等の継続使用
		2.1.4 ⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
		2.1.5 ⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
	3	2.1.6 ⑫	持続可能な森林から産出された木材
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。		3.1 ⑬	部材の再利用可能性向上への取組み
		3.2 ⑬	有害物質を含まない材料の使用
		3.2.1 ⑬	消火剤
		3.2.2 ⑬	断熱材
■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑰空間のゆとり) 特になし。		3.2.3 ⑬	冷媒
■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑰空間のゆとり) 特になし。	Q-2 2	2.1 2.1.1 ⑮	耐震性
		2.1.2 ⑮	免震・制振性能
		2.4 2.4.1 ⑰	空調・換気設備
		2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備
■室外環境(敷地内)対策 (⑰地域性・アメニティへの配慮) 特になし。		2.4.3 ⑰	電気設備
		2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法
		2.4.5 ⑰	通信・情報設備
■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑰空間のゆとり) 特になし。	Q-2 1	1.1 1.1.3 ⑯⑰	ユニバーサルデザイン計画
	3	3.1 3.1.1 ⑰	階高のゆとり
		3.1.2 ⑰	空間の形状・自由さ
	Q-3 3	3.1 ⑰	地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.2
■室外環境(敷地内)対策 (⑰生物環境の保全と創出/⑱まちなみ・景観への配慮/⑲敷地内温熱環境の向上) 特になし。	Q-3 1		⑰ 生物環境の保全と創出
	2		⑱ まちなみ・景観への配慮
	3	3.2	⑲ 敷地内温熱環境の向上
			⑲ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑲温熱環境悪化の改善) 特になし。	LR-3 2	2.2 ⑲	⑲ 温熱環境悪化の改善